

君とつばさ



交通遺児育英会機関紙

©平成20年5月15日発行
発行・財団法人交通遺児育英会
〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
0093 (電話) 03(3556)0771
(HP) http://www.kotsuji.com

新入生の皆さんへ



誇りを持って
進もう

(財)交通遺児育英会 理事長

中根 晃

新入生の皆さん 進学おめでとうございます。また、皆さまを支えてくださっておられるご家族の方々、おめでとうございます。

これまでひと山超えたことを実感され、感無量のことと思ひます。人生に波風はつきものですし、心とからだの成長と発達にもいくつもの峠があります。これからも人生の荒波はやってくるでしょうし、時には挫折を味わうかもしれません。しかし、それらは自分を強くすることで乗り越えることができます。一番の敵は、皆さまの心の内におこる迷いではないでしょうか。皆さまは、今の学校を自ら選んで進学されたわけです。もちろん、第一志望、第二志望も不首尾だった方もおられると思います。そして、とりあえず今の学校を選んだわけかもしれません。しかし、それも最終的には自分で選択なさったわけです。皆さまには、自分で選択して新しい人生に向きあう今があるわけです。

高校生としての人生は、まず自分を知ることから始まります。自分を知るというと哲學的に聞こえますが、ごく一般的な意味で自分の力を知ることで、その上で将来に向けての自分を創っていきます。高専、大学へと進学された皆さまも、こうして、自らの歩みを進められたわけです。皆さまの進学にあたっての自己選択は、人生における価値ある選択なのです。一人の人間としての自己選択、それを大事にしようではありませんか。もちろん進路変更を否定するわけではありません。でも下を向いて、自分に合っていないからと、自己否定してしまってはいけないです。そうでしたらそれまでの15年間、18年間は何だったのでしょうか。自分なりに力いっぱい生きてきた、その上の新たに見いだした将来の自分、それを誇りにしつつ前に進もうではありませんか。こうして自己研鑽した先には就職、結婚と、自分自身にとってさらに大事な自己選択が待っています。

皆さまも交通遺児育英会の奨学生であることに誇りをもつて、胸を張って学校生活の中で自分を磨かれることが期待されています。

公益財団法人へ早期移行目指す

20年度事業計画・収支予算決まる

財団法人交通遺児育英会は3月26日、東京都千代田区平河町の海運ビル会議室で、平成19年度第9回臨時理事会・第78回評議員会と理事会を開き、平成20年度事業計画と収支予算を決定した。

第2次長期事業計画の2年目に当たる今年度は、公益財団法人への移行の推進が最重要課題である。

それと同時に、今年度から開始される国庫補助金の返納に向け、事業の合理化を通しての経費節減や募金などの増収策を講じていく必要がある。

● 20年度の事業計画

1 奨学事業

20年度奨学生の新規・継続を含めた採用計画は、高

校675人、大学740人、大学院30人、専修学校

202人、各種学校7人の計1654人。昨年度比61人減。

また、入学一時金の貸与計画は、高校165人、大学生85人、専修・各種学校48人で、高校奨学生への進学準備金の貸与は65人予定している。



20年度事業計画・収支予算を決めた理事会

次代の奨学生のために報収集の強化の3点を考える督促を本年度も引き続き必要がある。

● 20年度の事業計画

漸減が続く奨学生の増加対策としては、関西学生寮の充実、進学準備金の周知徹底。本会のPRおよび情報収集の強化の3点を考える督促を本年度も引き続き進め、滞納者、滞納金額の減少を図りたい。

10月度返還金から使用できるようにする。

同時に、滞納者対策として、昨年来的戸別訪問によ

うて、昨年来的戸別訪問によ

る督促を本年度も引き続き

10月度返還金から使用でき

るようになる。

同時に、滞納者対策とし

て、必要と思われる奨学

話、文書などにより相談、電

話、文書など

交通遺児
育英会

奨学生募集のポスター製作

理由により進学を断念することのないよう」との思ひかけているものです。ポスターは3万1000枚印刷。全国の学校、教育委員会、地方自治体、警察、福祉事務所、自動車教習所、報道機関などに送付しています。

修学資金にお困りの方へ活用を

保護者が交通事故で亡くなったり、重度の後遺症で働けなくなった家庭で、高校生以上の生徒・学生の修学資金にお困りの方はいませんか。財団法人交通遺児育英会では今年度も奨学生募集のためのポスターを製作、全国に配布しました。これは、本会の奨学金制度を広く知つてもらうとともに、「交通遺児らが経済的に」。



全国へアピール

新入塾生による自己紹介では「英語力を高め、国際的な活躍がしたい」、3講座で知識・知性の向上を「と学生生活のあり方をアドバイスした。新入塾生によると、塾長が「親の気持ちをよく見てあげてください」と、塾員が「親の気持ちをよく見てみそ」といった言葉を贈った。

《詳しいお問い合わせは本会奨学課へ》

フリーダイヤル 0120-521286



心塾関西学生寮の入塾式兼懇談会

心塾関西学生寮には新たに14人が登場。寮長が生活状況報告書や読書感想文などの提出義務、講座統一して市村智一心塾寮費納入の規定について詳しく説明。寮規則に違反した場合の退寮処分に関する事項にまで及んだ。

このあとは懇談会。関西寮は

「まこといのうの不思議顔の猫」を本屋さんで見かけてから、すっかり惚れ込んだ市村智一事務局長は「心塾の特徴は優しさ。職員も常に見守っている」と不安は無用などを丁寧に説明、「30年の塾の伝統を重んじ、一緒に学んでいきたい」と結んだ。

続いて来賓の坪川光雄文部省講師が「激動する世の中に正しく対応するためには好奇心が大切。塾の3講座で知識・知性の向上を」と学生生活のあり方をアドバイスした。

新入塾生によると、塾長が「親の気持ちをよく見てあげてください」と、塾員が「親の気持ちをよく見てみそ」といった言葉を贈った。

忘れず頑張つてほしい。

また、先輩の皆さんには優しくなりましたけど。

井久子さん。「親の気持ちをよく見てあげてください」と、塾員が「親の気持ちをよく見てみそ」といった言葉を贈った。

井久子さんは、優しく見守つてあげてください。

井久子さんは、優しく

